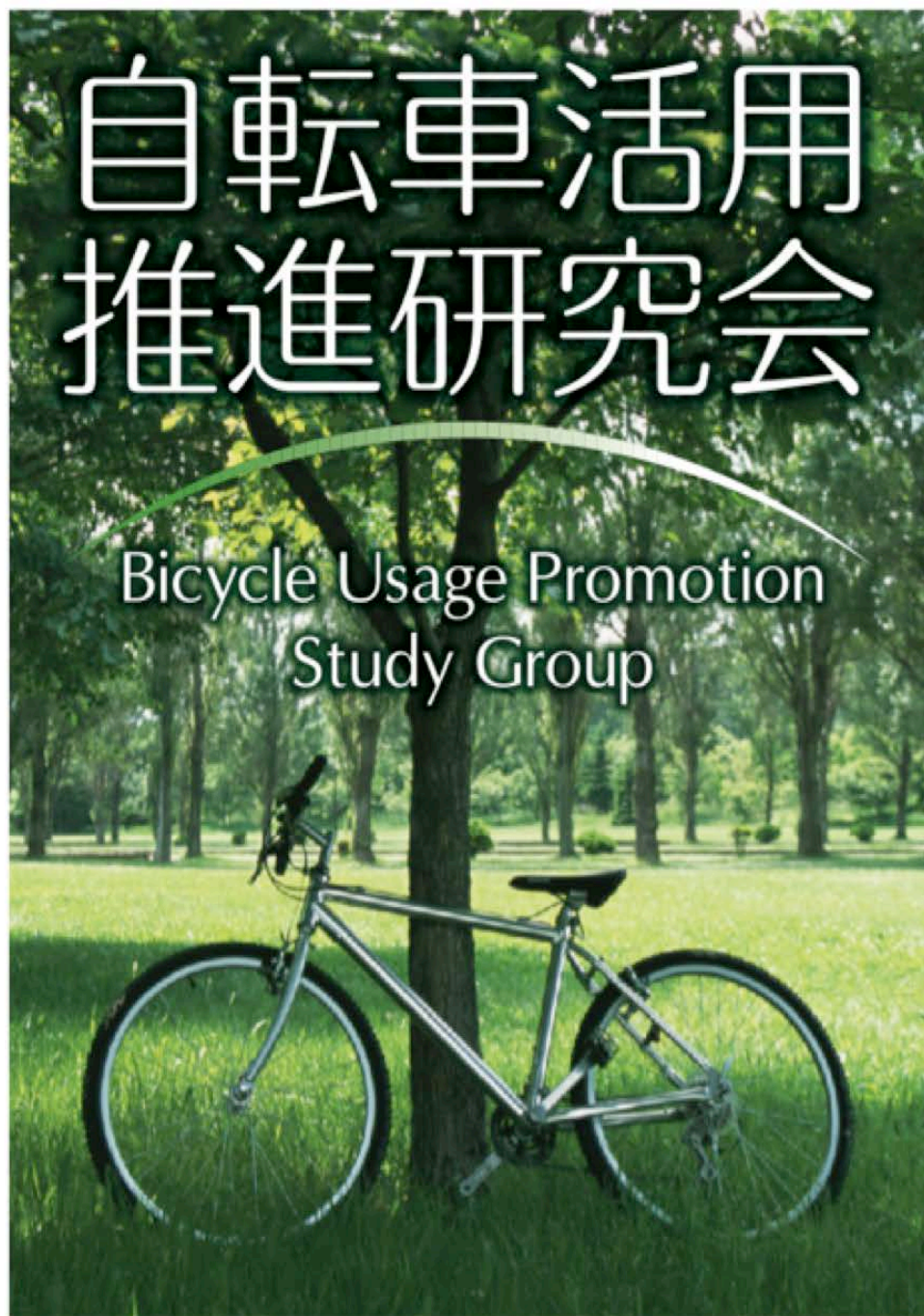


自転車活用 推進研究会

Bicycle Usage Promotion
Study Group



自転車 安全教育の 新展開

第7回 自転車利用環境向上会議 in 堺
分科会「③ 安全・教育」

主催：堺市

2018年 10月 27日 (土)
堺市産業振興センター

特定非営利活動法人
自転車活用推進研究会

理事 藤本 典昭

～対象に応じた

交通安全教育 カリキュラム

を考える～

5W1H

who 誰が

when いつ

why なぜ

what 何を

where どこで

how どのように

+

6W1H

whom 誰に

誰に

何を

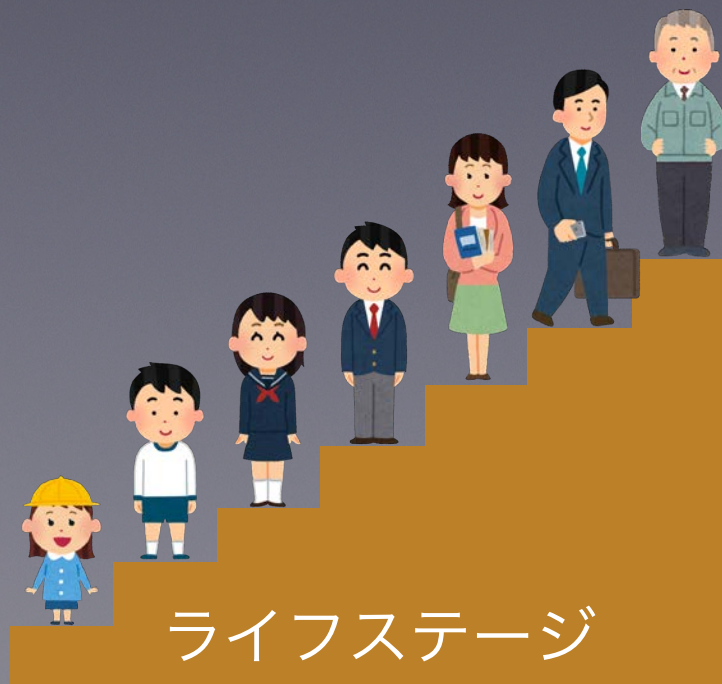
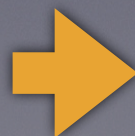
なぜ

どのように

いつ

どこで

だれが



何を

自転車関連法規・教育指針

	～5歳	小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	高齢者
・出生	・保育園入園 ・幼稚園入園	・小学校入学	・中学校入学	・高校入学	・大学入学 ・免許取得 ・転入	・免許取得・更新 ・転入、就職、結婚 ・子育て	・免許更新 ・運転免許返納 ・子育て
自転車関係 道路 交通法・ 条例等	道路交通法						
	乗車用ヘルメット着用義務（13歳未満）						乗車用ヘルメット着用
	二人乗り可・幼児用 座席（6歳未満）		自転車運転者講習制度（14歳以上）				
	歩道通行可（13歳未満）						歩道通行可（70歳以上）
交通安全 教育指針 （自転車 関係）	基本的な交通ルール等の理解・安全に自転車に乗車	基本的な交通ルール等の習得・安全な自転車利用	自転車の安全利用の必要性の自覚、正しい乗り方の実践	自転車の安全利用の再確認	自転車の安全利用の再確認		身体機能の確認と理解、正しい乗り方の実践
	ヘルメット・シートベルト着用（自転車乗車時の心得）	<ul style="list-style-type: none"> 自転車の基本的事項 乗るにあたっての心得 点検整備 正しい乗り方 通る所 走行上の注意 交差点の通行 歩行者、他への注意 自転車の駐車 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい乗り方の実践 点検整備 	<ul style="list-style-type: none"> 当事者事故発生原因 危険予測 点検整備 正しい乗り方の実践 	<ul style="list-style-type: none"> 当事者事故発生原因 反射材の効果 歩行者への配慮 正しい駐車方法 保険加入の必要性 		<ul style="list-style-type: none"> 加齢の影響を理解 運転条件の確認 交通ルールの周知

自転車安全教育のポイント

	 ~5歳 親と乗車 自転車デビュー	 小学生低学年 親と一緒に	 ~5歳 親と乗車 自転車デビュー	 小学生低学年 親と一緒に	 学生 通勤等での利用 子どもと乗車	 社会人 通勤等での利用 子どもと乗車	 高齢者 加齢に応じた運転 歩道通行も可能	
知る	覚える	自転車の運転技術	覚える	自転車の運転技術	わかって実践し、他者にも伝える	指導者としての視点	保護者としての視点	加齢に応じた運転
わかる	覚える	自転車の運転技術	覚える	自転車の運転技術	わかって実践し、他者にも伝える	指導者としての視点	保護者としての視点	加齢に応じた運転
主なポイント	運動・認識能力	ぶつからないようにするなど他者を思いやる気持ちを養う 乗車するための基本	ぶつからないようにするなど他者を思いやる気持ちを養う 乗車するための基本	ぶつからないようにするなど他者を思いやる気持ちを養う 乗車するための基本	加齢による運動・認知能力の低下を考慮した運転ができる	加齢による運動・認知能力の低下を考慮した運転ができる	加齢による運動・認知能力の低下を考慮した運転ができる	加齢による運動・認知能力の低下を考慮した運転ができる
	交通ルール・マナー	簡単な交通ルールを知る 「自転車はクルマの仲間」「車道は左側通行」 身近な危険箇所	簡単な交通ルールを知る 「自転車はクルマの仲間」「車道は左側通行」 身近な危険箇所	簡単な交通ルールを知る 「自転車はクルマの仲間」「車道は左側通行」 身近な危険箇所	正しい交通ルールを子ども等他者にも教えることができる 子どもの自転車の安全利用の責任を持つ	正しい交通ルールを子ども等他者にも教えることができる 子どもの自転車の安全利用の責任を持つ	正しい交通ルールを子ども等他者にも教えることができる 子どもの自転車の安全利用の責任を持つ	正しい交通ルールを子ども等他者にも教えることができる 子どもの自転車の安全利用の責任を持つ
	自転車の楽しさ	自転車に乗る楽しさ	自転車に乗る楽しさ	自転車に乗る楽しさ	まちなかをサイクリング	趣味としての自転車	趣味としての自転車	趣味としての自転車

2020.3

京都新 自転車 計画

～みんなにやさしい
サイクルPLAN～

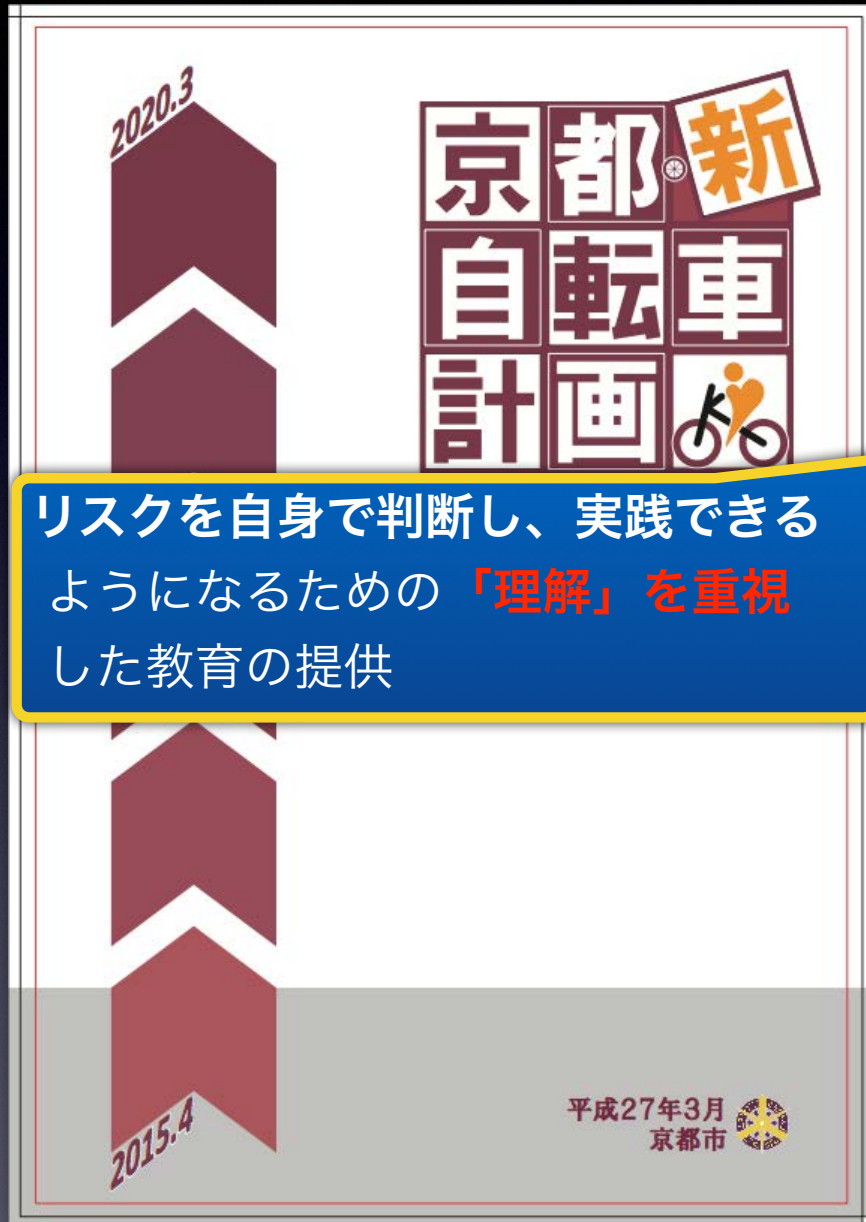


2015.4

平成27年3月
京都市

京都市での事例

「見える化」計画



リスクを自身で判断し、実践できるようにするための「理解」を重視した教育の提供

① 自転車走行環境の「見える化」

- 面的な整備によるネットワークの構築

② ルール・マナーの「見える化」

- 知る+見える（わかる）=守る+備える
- 何がなぜ危険なのかを納得と理解
- あらゆる階層に受講機会を設けた教育プログラムの構築
- 自転車向け保険加入の義務化


③ 自転車駐輪環境の「見える化」

- 駐輪場の整備,運用の改善（量から質へ）
- 駐輪場の情報提供の充実（位置,利用状況）
- 撤去の維持と強化（撤去地域の拡大等）

④ 自転車観光の「見える化」

⑤ 自転車関連施策の「見える化」

ライフステージに合わせた「自転車教育」の推進

	～5歳	小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	高齢者	
・出生	・保育園入園 ・幼稚園入園	・小学校入学	・中学校入学	・高校入学	・大学入学 ・免許取得	・免許取得・更新 ・転入、就職、結婚	・免許更新 ・運転免許返納 ・孫育て	
座学	① 従来の安全教室との相違点・特徴 「見て分かる！」自転車安全教室							
	スクエアード・ストレイト方式による自転車安全教室			自転車安全利用推進企業による取組				
	自転車安全利用推進員委嘱研修（京都府）							
	シミュレーター等を活用した講習（府警）							
	自転車安全教室（実技）, 自転車検定（免許証） ①新しい走行環境に応じた自転車の乗り方, ②サイクリングの楽しみ方等							
自転車の楽しみを学べる教室				サイクリングイベントの企画, 支援				

キックバイク教室

② 未就学児への教育の必要性

出典：京都市自転車安全教育プログラム

■ 重点を置いているポイント

- ① 生徒の「知りたい」に答える内容であること
- ② 活かせる具体的な話であること
- ③ 画一的ではなく、地域に密着した教材であること
- ④ 画像を多く取り入れて、わかりやすいこと
- ⑤ とにかく生徒にとって、身近な内容であること



京都市自転車安全
教育プログラム
～中学生編～

(例)

(従来)

車道は左側を通行



車道の右側通行は危険

その理由を分かり易く説明

中学

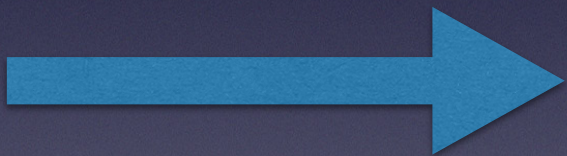
右側通行が危ない



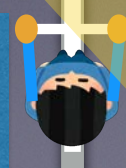
右側



46件



左側



25件

出典：Googleマップ

出典：国土交通省 国土技術政策総合研究所調べ

右側通行が危ない



車に向かって走ると危ない

太秦駅

映画村

中学校

1

4

帷子ノ



神川駅

2

天塚古墳

3

梅津北小

出典：Googleマップ

4

1



3

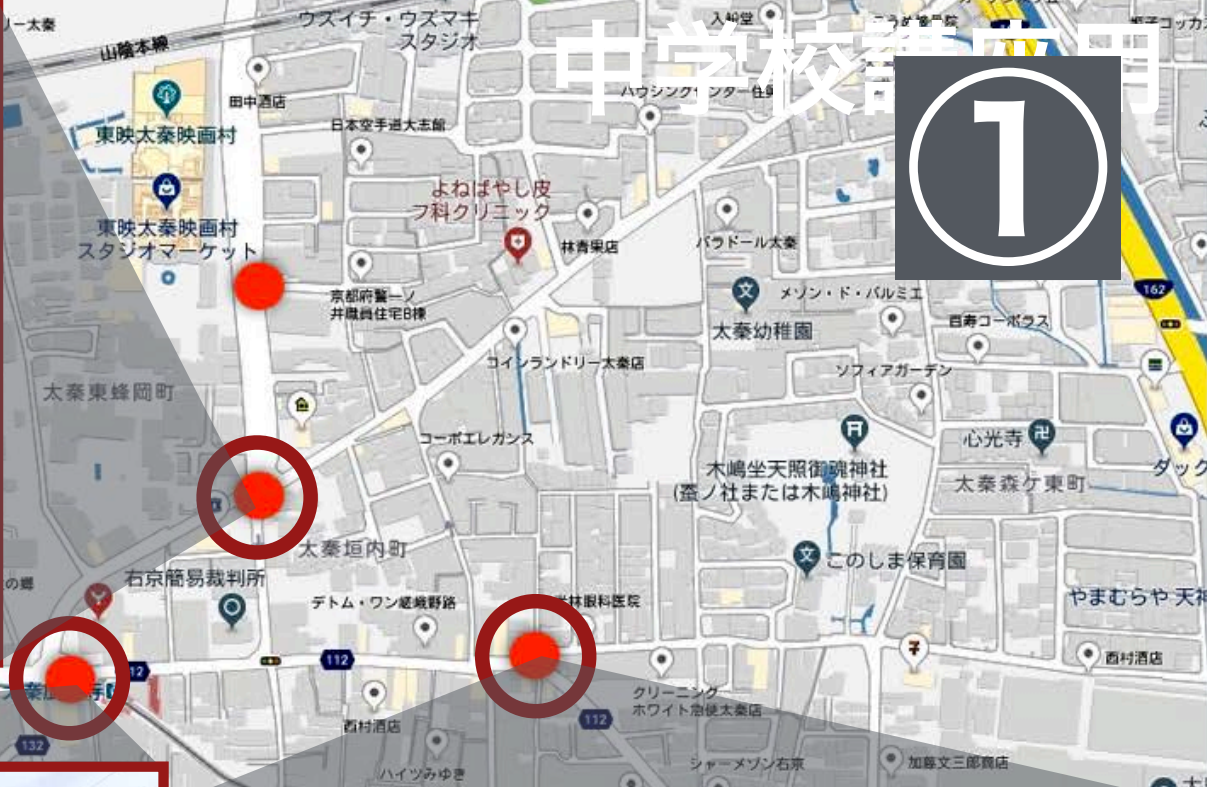
2



自転車事故発生場所



中学校部門

1



各種自転車安全教室 受講者アンケート調査結果

対象：平成30年度 開催済み

	Q1：自転車の交通ルールやマナーの重要性について理解できましたか。	Q2：自転車を安全に乗ることの意識は変わりましたか。	Q3：今後の自転車利用に役立つと思いますか。																																																																																	
	■ よく理解できた ■ まあまあ理解できた	■ 非常に変わった ■ 少し変わった	■ とても役立つ ■ まあまあ役立つ																																																																																	
「見てわかる」  1954名	<table border="1"> <tr><td>A</td><td>71%</td><td>27%</td></tr> <tr><td>B</td><td>69%</td><td>30%</td></tr> <tr><td>C</td><td>72%</td><td>27%</td></tr> <tr><td>D</td><td>65%</td><td>31%</td></tr> <tr><td>E</td><td>69%</td><td>30%</td></tr> <tr><td>F</td><td>66%</td><td>33%</td></tr> <tr><td>G</td><td>72%</td><td>27%</td></tr> <tr><td>H</td><td>60%</td><td>36%</td></tr> <tr><td>I</td><td>58%</td><td>40%</td></tr> </table>	A	71%	27%	B	69%	30%	C	72%	27%	D	65%	31%	E	69%	30%	F	66%	33%	G	72%	27%	H	60%	36%	I	58%	40%	<table border="1"> <tr><td>A</td><td>43%</td><td>48%</td></tr> <tr><td>B</td><td>49%</td><td>45%</td></tr> <tr><td>C</td><td>49%</td><td>48%</td></tr> <tr><td>D</td><td>50%</td><td>40%</td></tr> <tr><td>E</td><td>43%</td><td>50%</td></tr> <tr><td>F</td><td>42%</td><td>49%</td></tr> <tr><td>G</td><td>53%</td><td>41%</td></tr> <tr><td>H</td><td>46%</td><td>48%</td></tr> <tr><td>I</td><td>44%</td><td>52%</td></tr> </table>	A	43%	48%	B	49%	45%	C	49%	48%	D	50%	40%	E	43%	50%	F	42%	49%	G	53%	41%	H	46%	48%	I	44%	52%	<table border="1"> <tr><td>A</td><td>62%</td><td>36%</td></tr> <tr><td>B</td><td>69%</td><td>29%</td></tr> <tr><td>C</td><td>66%</td><td>29%</td></tr> <tr><td>D</td><td>61%</td><td>31%</td></tr> <tr><td>E</td><td>60%</td><td>38%</td></tr> <tr><td>F</td><td>58%</td><td>40%</td></tr> <tr><td>G</td><td>70%</td><td>27%</td></tr> <tr><td>H</td><td>61%</td><td>34%</td></tr> <tr><td>I</td><td>67%</td><td>31%</td></tr> </table>	A	62%	36%	B	69%	29%	C	66%	29%	D	61%	31%	E	60%	38%	F	58%	40%	G	70%	27%	H	61%	34%	I	67%	31%
A	71%	27%																																																																																		
B	69%	30%																																																																																		
C	72%	27%																																																																																		
D	65%	31%																																																																																		
E	69%	30%																																																																																		
F	66%	33%																																																																																		
G	72%	27%																																																																																		
H	60%	36%																																																																																		
I	58%	40%																																																																																		
A	43%	48%																																																																																		
B	49%	45%																																																																																		
C	49%	48%																																																																																		
D	50%	40%																																																																																		
E	43%	50%																																																																																		
F	42%	49%																																																																																		
G	53%	41%																																																																																		
H	46%	48%																																																																																		
I	44%	52%																																																																																		
A	62%	36%																																																																																		
B	69%	29%																																																																																		
C	66%	29%																																																																																		
D	61%	31%																																																																																		
E	60%	38%																																																																																		
F	58%	40%																																																																																		
G	70%	27%																																																																																		
H	61%	34%																																																																																		
I	67%	31%																																																																																		
「スケアード・ストレイト」  1417名	<table border="1"> <tr><td>J</td><td>83%</td><td>16%</td></tr> <tr><td>K</td><td>80%</td><td>19%</td></tr> <tr><td>L</td><td>77%</td><td>21%</td></tr> <tr><td>M</td><td>90%</td><td>9%</td></tr> </table>	J	83%	16%	K	80%	19%	L	77%	21%	M	90%	9%	<table border="1"> <tr><td>J</td><td>60%</td><td>35%</td></tr> <tr><td>K</td><td>62%</td><td>33%</td></tr> <tr><td>L</td><td>57%</td><td>38%</td></tr> <tr><td>M</td><td>72%</td><td>24%</td></tr> </table>	J	60%	35%	K	62%	33%	L	57%	38%	M	72%	24%	<table border="1"> <tr><td>J</td><td>76%</td><td>20%</td></tr> <tr><td>K</td><td>77%</td><td>21%</td></tr> <tr><td>L</td><td>72%</td><td>26%</td></tr> <tr><td>M</td><td>88%</td><td>12%</td></tr> </table>	J	76%	20%	K	77%	21%	L	72%	26%	M	88%	12%																																													
J	83%	16%																																																																																		
K	80%	19%																																																																																		
L	77%	21%																																																																																		
M	90%	9%																																																																																		
J	60%	35%																																																																																		
K	62%	33%																																																																																		
L	57%	38%																																																																																		
M	72%	24%																																																																																		
J	76%	20%																																																																																		
K	77%	21%																																																																																		
L	72%	26%																																																																																		
M	88%	12%																																																																																		

Q1. 「 ■ まあまあ理解できた」を含めるといずれも95%以上となっているが、
 「 ■ よく理解できた」はスケアード・ストレイトの方が高くインパクトがある。

各種自転車安全教室 受講者アンケート調査結果

Q4：特に注意しようと思ったことは何ですか。（複数回答可）

対象：平成30年度 開催済み

	回答数										質問・疑問等
	自転車は車道通行が原則	自転車もクルマと同じ左側を通行	歩道は歩行者優先	交差点で「止まれ」の標識がある場合は一時停止	音楽を聞きながらの運転は禁止	携帯電話を使用しながらの運転は禁止	傘差し運転は禁止	自転車同士が横に並んで通行することは禁止	夜はライトをつける	その他	
A	79	104	86	44	28	34	23	41	19	5	内容の更なる解説
B	43	66	59	36	21	38	20	54	28	1	
C	98	110	113	63	33	59	42	62	67	1	
D	69	95	84	53	19	42	35	44	42	2	
E	148	167	145	68	19	22	27	55	27	7	
F	25	33	25	17	14	12	8	25	15	1	
G	21	43	39	30	8	14	7	23	18		
H	45	60	43	34	15	23	16	41	25	1	
I	57	81	91	36	16	38	33	53	25	1	
J	44	66	30	85	69	70	69	85	25	2	上記同様 恐怖 5%
K	79	90	60	138	87	87	83	97	39	2	
L	81	116	64	114	110	139	80	106	141		
M	33	70	27	53	49	49	40	91	24	2	



1954名



1417名

Q4. スケアード・ストレイトは「注意」する項目にバラツキがある。
質問・疑問欄に「怖い」等記述が見られた。

② 未就学児への教育の必要性



自転車関連法規・教育指針

	～5歳	小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	高齢者
・出生	・保育園入園 ・幼稚園入園	・小学校入学	・中学校入学	・高校入学	・大学入学 ・免許取得 ・転入	・免許取得・更新 ・転入、就職、結婚 ・子育て	・免許更新 ・運転免許返納 ・子育て
自転車関係 道路 交通法・ 条例等	道路交通法						
	乗車用ヘルメット着用義務（13歳未満）						乗車用ヘルメット着用
	乗車用ヘルメット着用義務（13歳未満） 歩道通行可（13歳未満）	自転車運転者講習制度（14歳以上）				歩道通行可（70歳以上）	
交通安全 教育指針 （自転車 関係）	基本的な交通ルール等の理解・安全に自転りに乗車	基本的な交通ルール等の習得・安全な自転車利用	自転車の安全利用の必要性の自覚、正しい乗り方の実践	自転車の安全利用の再確認	自転車の安全利用の再確認		身体機能の確認と理解、正しい乗り方の実践
	ヘルメット・シートベルト着用（自転車乗車時の心得）	<ul style="list-style-type: none"> 自転車の基本的事項 乗るにあたっての心得 点検整備 正しい乗り方 通る所 走行上 交差点の通行 歩行者への注意 自転車 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい乗り方の実践 点検整備 	<ul style="list-style-type: none"> 当事者事故発生原因 危険予測 点検整備 正しい乗り方の実践 	<ul style="list-style-type: none"> 当事者事故発生原因 反射材の効果 歩行者への配慮 正しい駐車方法 保険加入の必要性 		<ul style="list-style-type: none"> 加齢の影響を理解 運転条件の確認 交通ルールの周知

2020.3



～みんなにやさしい
サイクルPLAN～

2015.4

平成27年3月
京都市

キックバイクを用いた 子ども自転車教室



市民自転車学校プロジェクト
Citizen Cycle School Project

デンマーク式自転車教育プログラムを採用

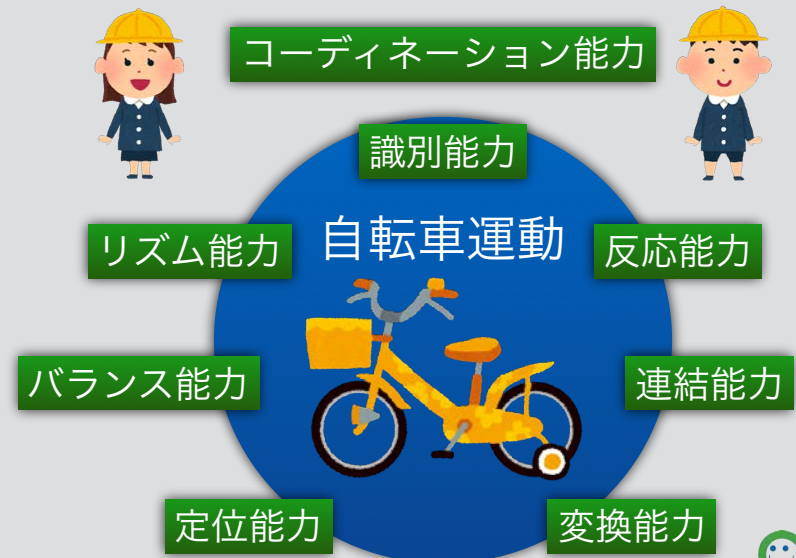
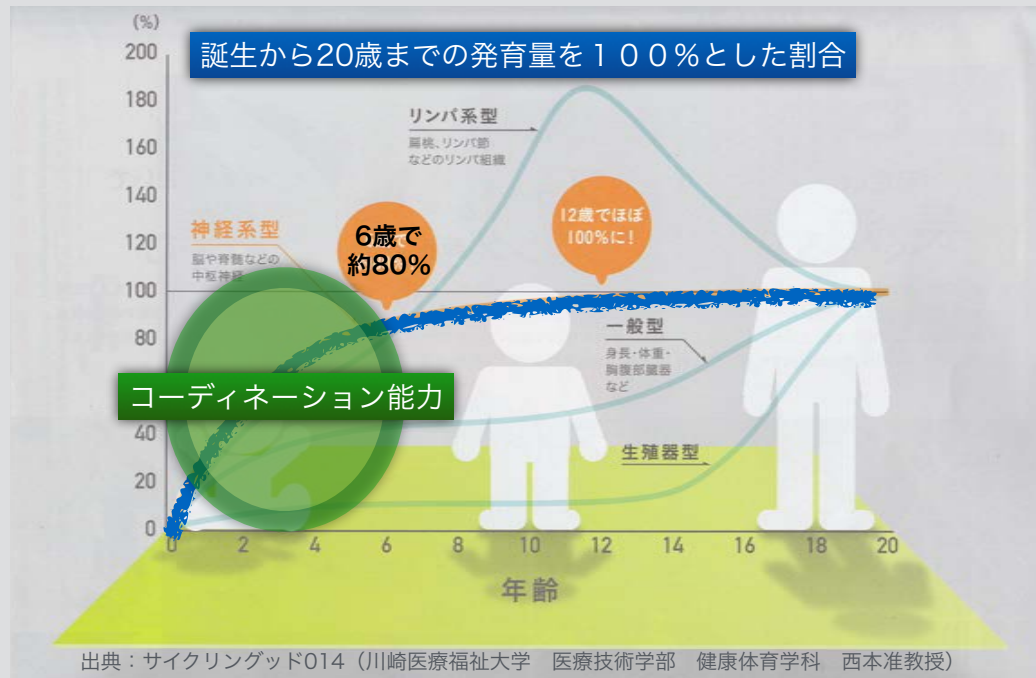
デンマークの45%の子どもは自転車通学をしており、小学校（2300校）では交通教育が義務化されています。このプログラムは、キックバイクを使ったゲームを通して、楽しく効果的に自転車デビュー時に必要な技能を段階的に習得することで、交通状況下において歩行者や信号、他の交通などへの対処方法をより学びやすくすることを期待して実施するものです。



教室は、デンマーク自転車連盟国際委員会委員 Lotte Bech氏の指導を受けたインストラクターがサポートしています。



子どもが「乗りたい」という「やる気」のある時期に、技能に応じたプログラムを提供いたします。



「まずは自転車安全、そして交通安全」



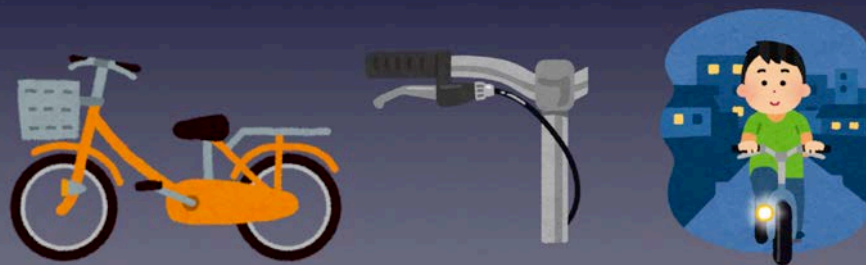
② 自分の自転車をうまく操る能力
(運転スキル) **自転車安全**



① 交通状況に応じて判断できる能力
(知識・経験) **交通安全**



③ ブレーキ、ライトなど必要な機能が整っていること (整備) **自転車整備**





自転車ゲームは、自転車に乗ることの楽しさ、そして安全運転を学ぶ最初のステップです。バランスが保てない、ペダルに足をつけられない子どもたちは、周囲に注意が必要な道路に出てはいけません。でも、まずシャボン玉を追いかけることや、リングライディングができるようになると、突然周りの交通に目が行くようになるものです。そして、それが安全運転のできる人になる道へとつながるのです。


デンマーク・サイクリスト連盟

1.教室の実施（キックバイクでの運用例）

自転車ゲームはグループ単位で実施

人数

1グループ（例）
5歳児10～12名
講師 2名



1グループ最大：5歳児15名 講師 3名

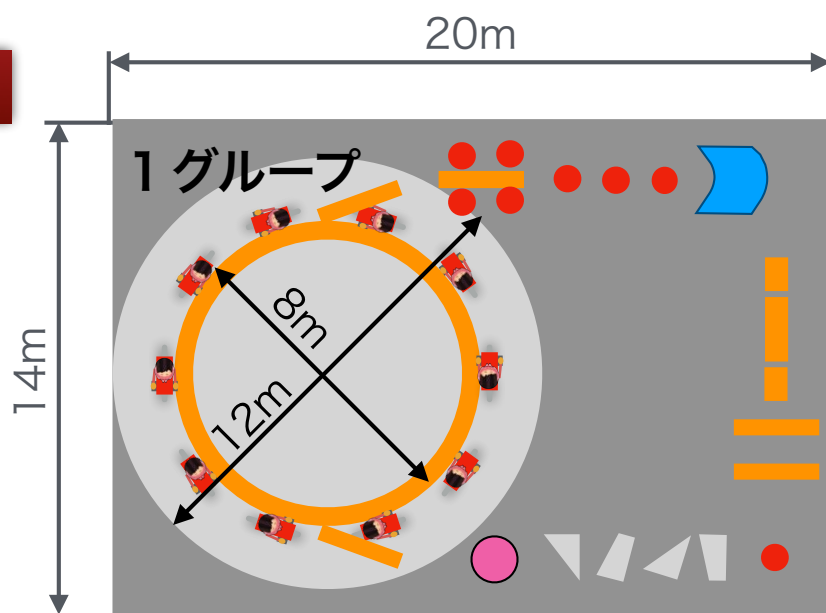
時間

実施時間（例）：1時間

	自転車ゲーム（例）
スタート	バタバタ
	シャボン玉
	サークル走行
	楽器鳴らし
	リング渡し
	リング取り
	合板アイランド
	ジグザグ走行
	大股走行
	脚上げ
	スロープ
	シーソー
	ビヨーン
	バランスボール
	大波
	トンネル
	ウォッシング
	パレード

グループのレベルや状況等に応じて講師が実施ゲームを選択

広さ



1グループ当たりの標準的な平面図

2. 自転車ゲーム（キックバイクでの運用例）

① 準備から始まる学び



- 自分でビブス・手袋を着用
- ヘルメットの正しい被り方を学ぶ

1-1
ビブス



ビブスの表裏を確認し
上から着る。

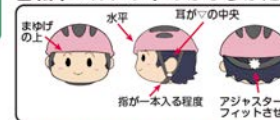
1-2
手袋



プチプチが付いている方が手のひら
何も無い所が手のこです。
手をパーの状態ではめる。

1-3
ヘルメット

自転車ヘルメットのかぶりかた



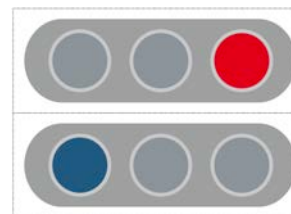
きげんなかぶりかた



- ・おでこは出さず眉毛の上あたりまで深めにかぶる
- ・耳が外にできるように耳紐を顔に沿わせて止める
- ・あご紐の間は、指が一本入る程度の余裕がある
- ・二本の紐が交差する▽部分中央に耳が収まっている
- ・横から見てヘルメットが水平になっている
- ・アジャスターとサイズ調整パッドで頭にフィットしている。



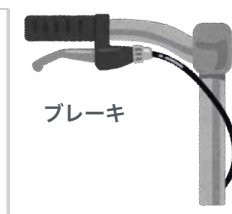
- 自転車ゲームに出てくる標識や信号の説明
- ブレーキの説明



信号



交通標識



ブレーキ

3. 自転車ゲームの紹介（キックバイクでの運用例）

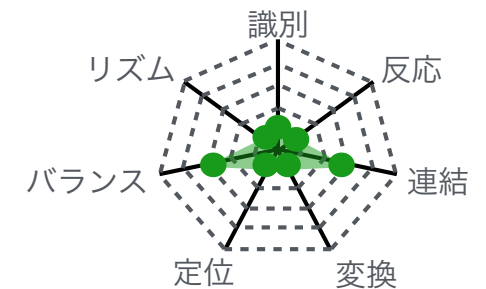
② 自転車ゲーム（初級）



バタバタ

■ サドルに座りハンドルから手を離す

◎ 転ぶのを防ぐ

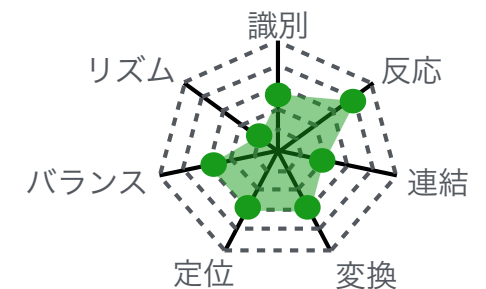


シャボン玉

■ シャボン玉を追いかけて叩く

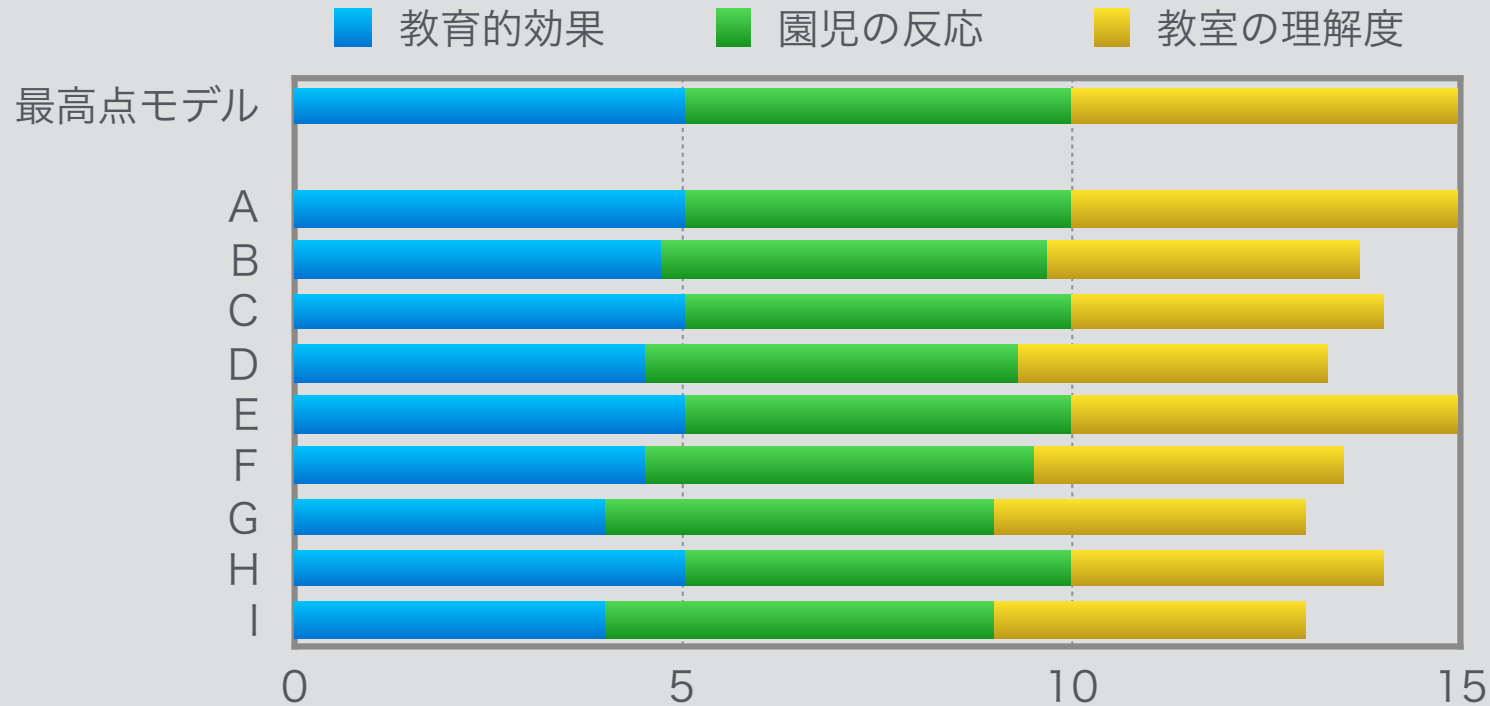
◎ 他人を叩かない

◎ 転ぶのを防ぐ



キックバイク教室 担当先生アンケート集計結果

対象：平成30年度 開催済分



子どもたちの様子を見ながらのプログラム進行が良い。実際にキックバイクに乗ると、乗れない子どもも、いつもすぐ飽きられてしまう子どもも根気よくチャレンジしていた。

話を聞く、考えるなどのことが遊びながらでき、マナーについても知る機会となった。

子どもたちがとても楽しそうで、生き生きしていました。意外な子どもが得意なことに気付きました。話を聞いて集中できていたことも発見でした。